
司馬昭転生譚 誰かうちの母と姉を止めてくれ

夢現

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

司馬昭転生譚 誰かうちの母と姉を止めてくれ

【Nコード】

N8966Y

【作者名】

夢現

【あらすじ】

交通事故で死んだと思ったら神様の暇つぶしで転生させられた。仕方ないから転生先でがんばろうと思ったら三国志の世界。しかも、俺は司馬昭で周りの有名武将は全員女。神にはそこそって言ったのに明らかに異常な才能。「もうやだ（泣）」「「どうした芙蓉！？」」極め付きは息子離れできない母とブラコンな姉。そんなこんなで転生した主人公ががんばるお話。「誰か俺に平穩をください」

神様との邂逅と転生と（前書き）

作者はこの作品が初投稿です。作者に文才はありません。

素人の駄文ですが楽しんでいただけたら幸いです。

神様との邂逅と転生と

「恋姫の世界に転生してください♪」

「嫌だ。」

うん。なんか突然意味不明なことが言われたから反射的に拒否しちゃったけど何この状況。

相手は羽のあるコスプレー(?)した女。あたりは変な神殿?みたいな場所。

「という訳で説明プリーズ。」

「えっとですね、私最近暇だー↓誰か転生させよう↓現在に至る、ってところです。質問ありますか?」

うん、あるに決まってるじゃん。説明が下手とかの問題じゃない。

「オーケー、じゃあ質問するからそれに答えてくれ。」

「はい。」

Q, お前は誰?

A, 神様です♪

Q, ここはどこ?

A, 神の住む神殿です♪

Q、何で俺は此処にいる？

A、私が呼んだからです♪

Q、なぜ呼んだ？

A、暇つぶしです♪

整理すると目の前にいる女は神で、此処は神の住む神殿で、俺が呼ばれたのは神の暇つぶしのためと。

「ふう。」

「質問は終わりですか？」

「とりあえず帰っていいか？」

「駄目です♪っていうか無理です。」

うん、やっぱり駄目か。……ん？

「無理？」

「はい♪」

「……何故？」

「だって——貴方もう死んでますもん。」

「………は？」

「あれ？覚えていませんか？貴方、交通事故で死にましたよ？」

……ああ、思い出した。そうだよ、俺は友達と学校から帰るっ最中に車が突っ込んできて、

「……あいつは、一緒にいたやつは無事か？」

「はい♪でも立派ですね。自分は逃げられたのに友達を助けて自分が死ぬなんて。」

「面倒でも、見殺しにはできねえだろうさすがに。それに、見捨ててもきつと助からなかったよ、俺は。」

「ふふふ、いつも面倒くさがりながら、その実自分より他人を気にする。立派ですよ。」

「はあ、そんなんじゃないやねえよ。で？死んだ俺は何すればいいわけ？天国にでも行くのか？それとも地獄行き？」

「違いますよ♪転生してください。」

ああ、そういえばそんなこと最初に言ってたな。

「ふーん、そうか。」

「あれ、落ち着いてますね？」

「だって生まれ変わるんだったら記憶は無くなるだろ？それなら他人事じゃん。」

「え？」

「え？」

なんか違ったか？

「あ、ごめん説明していませんでしたね。貴方には記憶を持ったまま転生してもらいます♪」

……は？

「輪廻転生とかは？」

「まあ、いいじゃないですか。第二の生を楽しみなYO♪そして私を楽しませてね♪」

神様ノリ軽いなおい。っていうか、

「結局あんたの暇つぶしのためか！！」

「うん♪」

うわ、超いい笑顔。

「はあ。あー、そうかい。じゃあもうそれでいいよ。」

よくよく考えたらこいつ神じゃん。ってことは神の決定＝絶対じゃん。

「じゃあ、生まれ変わるにあたって何かほしいものとかありますか？」

「あー、じゃあ何でもそこそこできるようになりたい。できる?」

「はい、できますよ。でも良いんですか?そこそこで。」

「あー、うん。それぐらいがちょうど良いからな。」

「……そうですか。わかりました。それじゃあ、恋姫の世界ががんばって楽しんでくださいね♪」

なんか今間があったような。……ん?恋姫ってなんだ?

「じゃあ、逝ってらっしゃい♪」

「絶対字が違う!っていうか恋姫ってなn…」

そこで、俺は意識を失った。

神様との邂逅と転生と（後書き）

楽しんでいただけたら幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8966y/>

司馬昭転生譚 誰かうちの母と姉を止めてくれ

2011年11月26日22時47分発行